

# 委員長所信

地域のたから発信委員会  
委員長 関 眞幸

先輩諸兄が歴史を刻み、時代の変化に対応しながら地域の発展に向けた取り組み、さらには、魅力の発信を行ってまいりました下妻青年会議所も、創立40周年の節目の年を迎えます。これまでの歴史を振り返り、これからの未来を思い描く契機と捉え、5年後・10年後のこの地域の姿を見据えた、夢と希望が溢れる新たな運動展開、また各種問題解決に目を向けた事業展開に努め、まだ見ぬ宝を発掘し、そして発信していく必要があります。

まずは、私たちの住む地域の未来を切り拓くために、本会の事業運動を推進します。そして、明るい豊かな地域発展のために「JCだからできること、JCにしかできないこと、JCではやらなかったこと」などを追求する中で青年経済人として地域の未来を想像した魅力を発信し、心の進化を創造します。さらに、地域の宝である子供達に礼節や道徳心、和の精神を育んでもらうために、8回目となるわんぱく相撲下妻場所を開催し一人でも多くの子供達が国技である相撲に触れることによって、楽しさや勝利の喜びを通じて心を強化します。また、この地域にある宝の輝きにさらなる磨きをかけるために、12回目となるキャンドルナイトでは今まで以上に、地域の人びとを巻き込み、子供から高齢者まで幅広い世代に関わっていただくことで、夢と希望溢れる運動展開へと繋げていきます。そして、継続事業を継続するために、委託を視野に入れ、共催団体・企業の呼びかけを図ることで、新規事業の可能性を広げます。さらに、災害発生時に備え平常時から防災意識を高めるために、行政や各他団体との協力と連携を図り、有事の際の迅速な対応に繋がります。

地域の未来の想像から創造によって育まれた心と心が繋がり、次なる歴史の1ページとなる下妻青年会議所のメンバー一人ひとりの成長、そして責任感とブランド力が高まり、すべての事に感謝する心を持つ我々が、愛する地域の宝を発信し続けられると確信します。

## <事業計画>

1. 地域の魅力発信の為の企画・発信
2. わんぱく相撲の企画・運営及び今後の委託方法の立案
3. キャンドルナイトの実施（実行委員会）
4. 災害時の支援及び平時からの連携
5. 日本、関東、茨城の何れかに向